



今さら聞けない！ EMM・MDM・MAM・MCMとは？

管理ツール選定のポイントとエンドポイントマネージャーが選ばれる理由

Contents

目次

- 01** EMM・MDM・MAM・MCMとは？
- 02** MDM選定のポイント
- 03** LANSCOPE エンドポイントマネージャー クラウド版が選ばれる理由

chapter

01. EMM・MDM・MAM・MCMとは？

EMM・MDM・MAM・MCMの役割

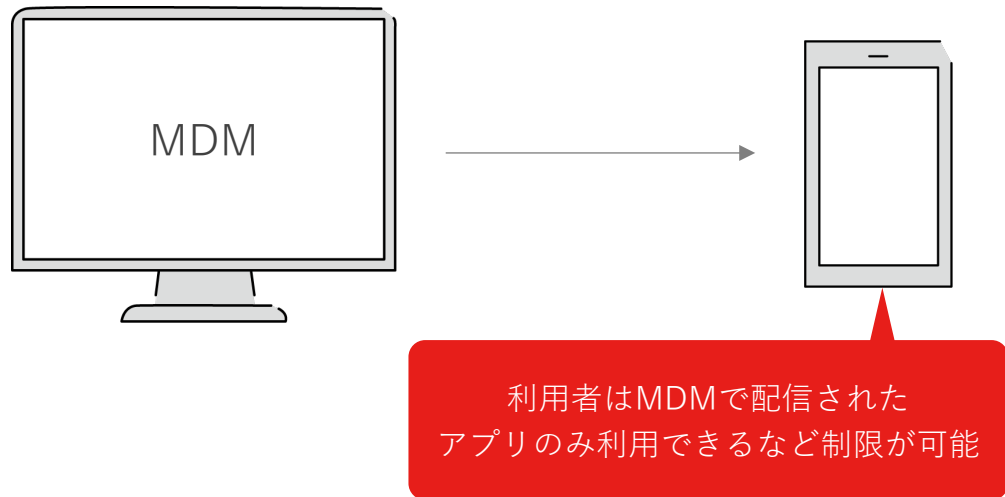
EMMとは「MDM＋MAM＋MCM」の要素を統合したツール。EMMは多機能であることがメリットである一方で、設定や運用面で検討しなければならない範囲が広く、利用部門の運用負荷が大きくなるデメリットがあります。また、MCMは管理対象のコンテンツによっては、**デバイス管理を行うシステム部門ではなく、マーケティング・営業企画部門が管理ツールの利用部門**となり得ます。それぞれのツールの特性、利用シーンに応じて、導入製品を検討する必要があります。

管理ツールのカテゴリ	略称	管理ツールの利用部門	特徴・役割
Mobile Device Management	MDM	デバイス管理を行う 情報システム・総務部門	法人貸与のデバイスを管理するツール。デバイスの利用を制限したり、アプリの一括配信等による機能で管理の効率化を実現できる。
Mobile Application Management	MAM	デバイス管理を行う 情報システム・総務部門	デバイスの中に「仕事用の領域」を設けて、その領域のみを管理できる。デバイス利用者は業務に必要なアプリや電話の利用を仕事用の領域で行う。BYODデバイスには最適な管理手法。
Mobile Contents Management	MCM	コンテンツ管理を行う部門	業務で利用する資料データ等のコンテンツを管理するツール。
Enterprise Mobility Management	EMM	デバイス管理を行う 情報システム・総務部門	MDMが持つ機能に加えて、MAM・MCMの機能を備える。業務で利用するデバイスの用途が多岐に渡る場合、EMMを利用することで様々な管理に対応できる。

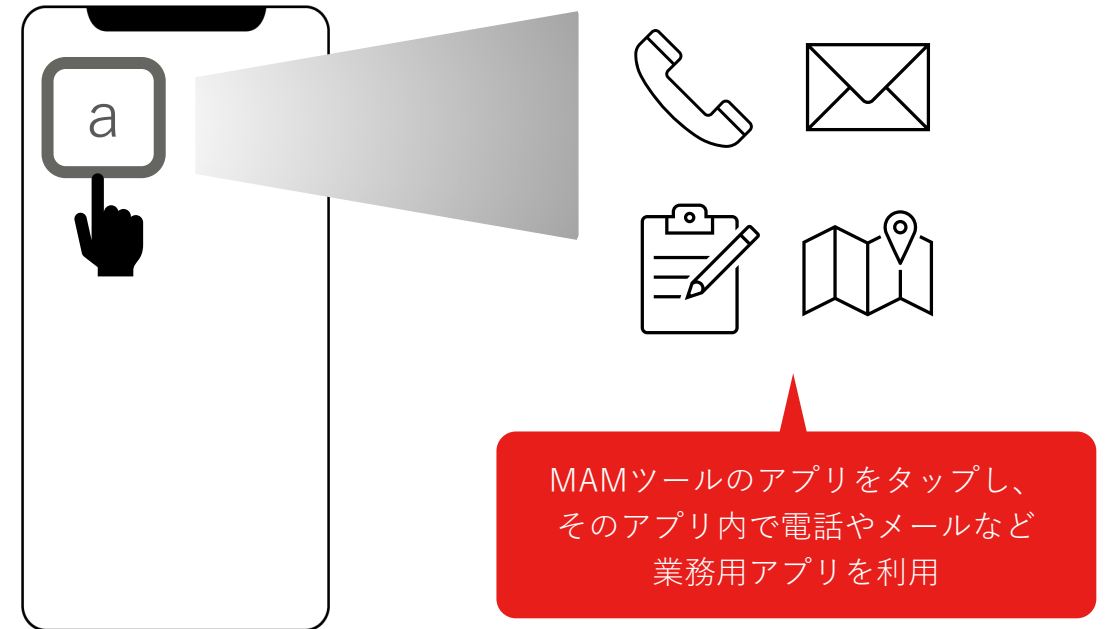
MDM・MAMの「アプリ管理」の違い

Mobile Application Management という名称から、MDMの機能であるアプリの配信・制御と混合されることもありますが、「MDM」と「MAM」では製品の特徴が異なる点に注意が必要です。MAMは、MAMツールのアプリ内で、業務用アプリを利用できます。万が一、デバイスを紛失したとしても、MAMアプリの領域のみをリモートワイプできる機能も実装されています。そのため、従業員の私物デバイスを業務上利用してもらうシーンに最適なソリューションです。

Mobile **Device** Management



Mobile **Application** Management



chapter

02. MDM選定のポイント

MDMを検討する時に“前提”とするポイントは？

iOS・Androidを管理するMDMツールの基本機能は、どのツールでも同じ！

各MDMベンダーが Apple・Google社が決めた規格の中で対応しているので、PC 管理ツールほどの機能差が出にくい現状

デバイス管理機能		製品A	製品B
デバイス情報の取得・管理	☐	☐	☐
インストールアプリ情報を取得する	☐	☐	☐
アプリの許可・不許可設定	☐	☐	☐
位置情報を取得する	☐	☐	☐
Apple Business Manager	☐	☐	☐
Android Enterprise	☐	☐	☐



機能差が大きい中、MDMを選定するポイントは
管理コンソールの操作性やサポート体制など、**機能面以外をしっかりと確認する必要があります！**

MDM選定のポイントは、使いやすさ・サポート体制・価格・管理対象OS



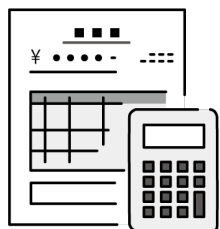
使いやすさ

ツールの使いやすさは、誰でも簡単に利用を始めることができ、効率的な運用・管理を可能にします。導入前の**トライアル利用**がオススメです。



サポート体制

トラブル発生時など、必要なサポートを受けることができるか、また問い合わせ方法はメールだけでなく電話による問い合わせも可能かなどを確かめましょう。



価格

MDMツールは導入後、長期に渡って利用することが一般的です。だからこそ、費用対効果に見合うか、ランニングコストを重視しましょう。



管理対象OS

iOS・Androidはもちろん、近年はPCもまとめて管理したいというニーズが増えています。管理ツールの統合は、デバイスを管理する担当者にとって効率化を支援することに繋がります。

MDM選定のポイント

MDMを選定する際、価格・管理対象OSなどはWebサイトなど公開情報から判断できます。一方で、自社にとって必要な管理・運用が可能か、またサポート体制は充実しているかなど、実際に利用してみないと分からないことは多々あります。そのため、ベンダーとの商談はもちろん、商談後には無料トライアルを利用しましょう。また、口コミサイトなど実際の利用者の声（良い点・改善してほしい点）も参考情報となります。

商談・トライアル運用

商談

管理要件や実現したいことを担当者に伝えて可否を確認

トライアル 利用

以下の点に着目

- ✓ **Apple Business Manager**や**Android Enterprise**の利用設定
- ✓ ポリシーの設定
- ✓ アプリ配信

不明点は積極的にサポートを活用することでサポート品質も把握できる。

口コミサイト

実際に利用しているユーザーの声を確認。ベンダーが公開している導入事例も参考になりますが、改善してほしい点も掲載されているのでリアルな声を確認できます。



chapter

03.

LANSCOPE エンドポイントマネージャー クラウド版が 選ばれる理由

PC・スマホ・タブレットの一元管理をクラウドで実現
「使いやすい」管理コンソールで、充実の「IT資産管理機能」と「MDM機能」を実装

IT review 顧客評価No.1※1

使いやすい管理コンソールと
AIアシスタント※2による活用支援

充実のPC管理

操作ログ・セキュリティ
PC管理に必要な機能を網羅

充実のモバイル管理

AppleとGoogleのプログラムに
対応したiOS・Android管理



※1 IT資産管理、ログ管理、MDM・EMM、統合運用管理の4部門でLeaderを獲得。

※2 LANSCOPE Copilot for エンドポイントマネージャー。2025年3月時点ではベータ版として提供。

この画面で何をすべきなのか、注意して欲しいポイントなどを管理コンソール上に表示
マニュアルへの直リンクも用意しているため、詳細な操作をすぐに確認できます

MDM 証明書の登録・更新

MDM 証明書は、iOS デバイス または Mac デバイスを LANSCOPE で管理するために必要となる証明書です。
MDM 証明書には有効期限があり、1 年ごとに更新が必要です。

注意事項

- MDM 証明書の有効期限が切れた場合、iOS デバイス または Mac デバイスを管理できなくなります。
- MDM 証明書を更新するには、登録時に使用した Apple ID が必要です。
- Apple ID を紛失した場合、新しい MDM 証明書を発行する必要があります。
その場合、各デバイスへ MDM 構成プロファイルをインストールし直す必要があります。

1 CSR ファイルのダウンロード

ベンダー署名付き CSR ファイルをダウンロードします。
手順 2 での MDM 証明書ファイルの作成に必要です。

[ダウンロード](#)

2 MDM 証明書ファイルの作成 および ダウンロード

手順 1 でダウンロードしたベンダー署名付き CSR ファイルを使用し、
Apple 管理サイト Apple Push Certificates Portal にて MDM 証明書を作成 および ダウンロード

[Apple Push Certificates Portal](#)

← ネットワーク全体のポリシー

デバイスポリシー

アプリポリシー

利用するアプリ

禁止するアプリ

ネットワーク

ネットワークの選択を禁止する

☒ 禁止する

Wi-Fi設定 (0件)

[選択](#)

データ・接続

物理的な外部メディア (SDカード等) の利用を禁止する

☒ 禁止する

NFCによるデータ転送を禁止する

☒ 禁止する

SMSによる通信を禁止する

☐ 禁止する

USB経由でのデータ転送を禁止する

☒ 禁止する

Bluetooth機器の接続を禁止する

☐ 禁止する

テザリングを禁止する

☐ 禁止する

アプリ

キャンセル 保存

ネットワークの選択を禁止する

☒ 禁止する

Wi-Fiのみで通信を行うデバイスに「ネットワークの選択を禁止する」を適用すると、Wi-Fiへの接続ができなくなる場合があります。

Wi-Fi設定 (0件)

[選択](#)

ユーザー様専用サイトには運用に必要な様々なコンテンツを用意 またヘルプデスクは電話・メール・有人チャットで利用可能です

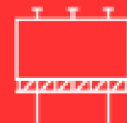
ユーザー様専用 サイト

エンドポイントマネージャー クラウド版の最新情報、初期設定マニュアルや動画、FAQなど製品を活用していただけるようコンテンツを取り揃えています。



トレーニングセミナー

オンライン形式で製品の基本的な利用方法から運用まで管理コンソールを利用しながらカスタマーサクセス担当が説明します。チャット機能で、その場ですぐに質問し、疑問を解決できます。



ヘルプデスクサポート

エンドポイントマネージャー クラウド版をご利用いただいている中で発生した疑問や質問に対して、電話やメール、チャットによるサポート対応を行っています。



代理ログイン・リモート サポート

お客様に同意をいただいた上で、管理コンソールに代理ログインし、操作案内やトラブル解決を行います。

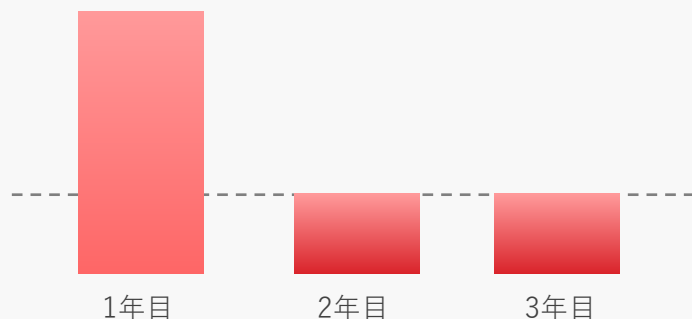


ランニング費用を抑えるプラン、イニシャル費用を抑えるプランの2種類を用意

ランニング費用を抑えるプランは、2年目以降、月額100円～利用できます

ランニング費用を抑えるプラン

プランⅠ



登録料 (初年度のみ)

6,800円/台

+

ライトA

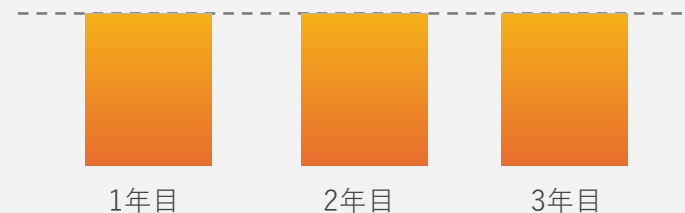
利用料 1,200円/台

(プランⅠの魅力)

3年以上継続利用するならプランⅡ・プランⅢ よりオトク

イニシャル費用を抑えるプラン

プランⅡ・プランⅢ



ライトA

利用料 3,600円/台

- ・初期費用として台数を問わず1契約/¥30,000が必要です
- ・プランⅢは月額払い。表記は1年間利用した場合の費用です。

(プランⅡ・プランⅢの魅力)

初期コストが抑えられるので、少ない予算でも導入しやすい

iOS・Androidの管理はライトAライセンスでご利用いただけます。ライトB・ベーシックはWindows・macOS管理向けのライセンスです。

	ライセンス	プランⅠ（都度更新/登録＋年間ライセンス）		プランⅡ（都度更新/定額）	プランⅢ（自動更新）	
		登録料（初回のみ）	年間利用料	年間利用料	月額利用料	年間利用料
必須購入	初期費用			30,000円/契約	30,000円/契約	30,000円/契約
	ベーシック	6,800円/台	3,600円/台	6,000円/台	500円/台	6,000円/台
	ライトA		1,200円/台	3,600円/台	300円/台	3,600円/台
	ライトB		2,400円/台	4,800円/台	400円/台	4,800円/台
オプション	地図利用料		8,400円/契約			
	24/365紛失サポート		1,800円/台	1,800円/台	150円/台	1,800円/台
	VPP*2		1,200円/台	1,200円/台	100円/台	1,200円/台
	外部脅威調査*3		1,200円/台	1,200円/台	100円/台	1,200円/台
	ログ運用*3		1,200円/台	1,200円/台	100円/台	1,200円/台
	Web フィルタリング		1,200円/台	1,200円/台	100円/台	1,200円/台
	デバイス検査		1,800円/台	1,800円/台	150円/台	1,800円/台
アップグレード*1	ライトA アップグレード		2,400円/台	2,400円/台		
	ライトB アップグレード		1,200円/台	1,200円/台		
導入支援	操作説明	別途お問い合わせください。				
	導入設計					
	インストール支援					

*1 プランⅢの場合、ライトAまたはライトBを解約し、ベーシックを新規で申込みいただけます。その際、初期費用（30,000円/契約）は必要ありません。また環境引き継ぎが可能です。

ライトA→ライトB、ライトB→ライトAへの移行は不可、ベーシックからライトへのダウングレードはできません。

*2 ライトBのみ購入している場合は、購入できません。ライトAまたはベーシックの購入が必要です。

*3 ライトAのみ購入している場合は、購入できません。ライトBまたはベーシックの購入が必要です。

エンドポイントマネージャーは、スマホだけでなく、PCも一元管理が可能
従来、別れていたIT資産管理ツールとMDMツールの両方の機能を実装しています



 **Endpoint Manager** Cloud

Windows・macOS 管理に必要な機能を網羅 IT 資産管理ツールとしては欠かせない 操作ログ取得機能も実装

01 | 資産管理

Windows

macOS

デバイスのハードウェア情報／設定情報を自動取得し、IT 資産台帳として活用できます。自動取得できない項目は任意項目として管理できるほか、プリンターやルーターなどエージェントがインストールできない機器もまとめて管理できます。

02 | セキュリティ

Windows

macOS

OSによって必要なセキュリティ対策は異なります。Windowsのアップデート管理や記録メディア制御、macOSのシステム利用制御、ドライブ・ディスク暗号化の運用に必要な機能をエンドポイントマネージャーで提供します。

03 | 操作ログ

Windows

macOS

内部情報漏洩対策として欠かせないPCの操作ログを自動取得します。取得したログは最大5年分の保存が可能です。また、働き方の見える化を実現するレポートを自動作成し、従業員のマネジメントにも活用できます。



60日間無料で体験できます！

体験版を利用したお客様の7割が製品版をご導入いただいています



ABM・AEとの連携設定も含め、製品版へのデータ引き継ぎが可能です！

エンドポイントマネージャー クラウド版の体験版は 60日間利用できます。十分に機能を検証していただき、ご検討ください。

また、Apple Business Manager (ABM) ・ Android Enterprise (AE) との連携設定を含め、そのまま製品版へのデータ引き継ぎが可能です。

体験版利用中も、弊社サポートセンターにお電話やメール、チャットで問い合わせが可能。

マニュアルやオンラインで学べるトレーニング動画も公開しています。



本資料に関するお問い合わせ

■ 営業本部

大阪本社	06-6308-8980
東京本部	03-3455-1811
名古屋支店	052-253-7346
九州営業所	092-419-2390

E-mail	sales@motex.co.jp
--------	--

ご導入後の製品利用に関するお問い合わせ

サポートセンター	0120-968-995（携帯・PHSからは06-6308-8981）
お電話受付時間	9:30～12:00/13:00～17:30（平日、祝祭日除く）
E-mail お問い合わせ	support@motex.co.jp

- ・記載の会社名および製品名・サービス名は、各社の商標または登録商標です。
- ・製品の仕様・サービスの内容は予告なく変更させていただく場合があります。
- ・MOTEX はエムオーテックス株式会社の略称です。